

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



浜田医療センター で検索！

contents

- 2 副院長就任のご挨拶
- 3 認定看護師の活動について
- 4~6 看護学校だより
- 7 地域人 vol.42
- 8~9 とげにくいアイスクリーム
- 10 地域のホスピタリティを訪ねて
- 11 特別メニュー / 募集
- 12 外来診療担当医表

副院長就任のご挨拶

栗栖 泰郎



2020年4月から飯田博前副院長が院長に就任し、その後任として副院長となりました栗栖泰郎です。これは浜田医療センターOB会だよりも書いたことですが、石黒前院長と飯田前副院長とから副院長への就任を要請された時、主にメンタル面での自信のなさから答えをためらってしまいました。それまでは、外科系診療部長という立場から、外科系、特に自分の専門領域である消化器外科や自己研鑽してきた乳腺外科の診療のことを主に考えていればよかったです。今後は、病院全体のことを考えていく役割を担うこととなり、大きな決断を迫られることもあり、責任は重大です。しかし、ある外科の恩師から、「手術を最後までやり遂げられるなら必ずやり遂げられる。」と強く勧められ、覚悟を決めて引き受けることにしました。

4月、コロナ禍が増悪していく中でのスタートとなり、当院のコロナに関わる診療体制を整えていくためにとっても慌ただしく過ぎていきました。また、院内の多くの委員会に関わることとなり、スマホにスケジュール管理させなければ、自分がいつ、どこで、何をすればいいのかわからない状態でした。今、2ヶ月半が経過し、自分が今やっていることと、これからやるべきことを整理し、それぞれの目的とその意義について考えているところです。

このSmile & Heart誌に挨拶を書くにあたり、改めて本誌3月号の石黒前院長の退任挨拶と、5月号の飯田新院長の就任挨拶を読み返してみました。そこには、当院が島根県西部で、あるいは浜田医療圏で果たすべき役割がほぼ網羅されているとともに、お二人の熱い思いが伝わってきました。コロナ禍のために、当初予定されていた国立病院機構新任副院長研修は7月末のWeb開催まで延期となりましたが、今後副院長としてすべきことは、一言で言えば、当院に期待される使命を全うするために、飯田院長を補佐して尽力するということでしょう。

では、当院に期待される使命は何かと言えば、短期的には、地域医療構想(将来人口推計をもとに、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に必要となる病床数を高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4つの医療機能ごとに推計した上で、地域の医療関係者の協議を通じて病床の機能分化と連携を進め、効率的な医療提供体制を実現する取り組み)や地域包括ケアシステム(2025年を目処に地域の实情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が確保される体制を構築すること)の中での当院の役割を果たすことでしょうか。高度急性期医療から、急性期、回復期の医療を担い、慢性期を担う医療機関や施設につながることです。振り返ってみると、当院はこれまでに、救命救急センター、地域災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、第二種感染症(SARS、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ、結核病床)指定医療機関、へき地医療拠点病院、地域医療支援病院、臨床研修指定病院などの資格を取得してきました。また、一つ一つ記載はしませんが、多くの学会の指定施設や関連施設となり各領域の専門医へのキャリアを積めるようになってきました。これら救急、災害、がん、感染症、地域医療支援、医師・職員教育などを通して、地域における役割を果たしていく必要があります。ただし、65歳以上の高齢者数がピークに達するとされる2040年頃までを見据えると、島根県西部の人口は更に減少しており、当院の使命は高度急性期の医療が主ではなくなっているかもしれません。長期的視野も持ちながら病院を運営していかなければなりません。

すべきことを業務内容から考えてみると、1. 医療の質、2. 医療安全、3. 院内内外医療連携、4. 職員・学生教育、5. 病院経営などの推進・維持・改善ということでしょう。膨大であり、気が遠くなりそうですが、計画的に、一つ一つできることを積み重ねていくしかないでしょう。飯田院長の指導を受けながら、院内外の風当たりをよくして、よいチームを形成し、当院職員にはやりがいのある、地域の皆様には信頼される病院になれるように、地道に尽くしていきたいと思えます。新米、未熟ではありますが、浜田市出身の身であり、思いは強く持っています。今後とも、皆様のご協力とご支援を賜りますよう、何卒よろしくご挨拶申し上げます。